

次なる革新を  
ここから。

**NFEC**  
国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構  
**FFGアントレプレナーシップセンター**

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14  
長崎大学文教キャンパス工学部2号館2F  
オープンラボ3(研究室)・1F オープンラボ1  
(ラウンジNOVE)

TEL **095-800-4121** (内線)  
4121

| お問合せ先 |  
**ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp**

お問合せ・ご相談につきましては、上記のQRコードからメールにて  
ご連絡ください。



## 活動報告書

# Activity Report 2019 - 2021



株式会社  
ふくおかフィナンシャルグループ  
**寄附講座**

## Contents



時代のうねりから  
次代の創造へ。

*From the Social Upheaval of the Times,  
To the Creation of the Next Generation*

# Activity Report 2019 - 2021

## To the Creation of the Next Generation

長崎大学研究開発機構FFGアントレプレナーシップセンター（以下、NFEC）は2019年10月、長崎大学とふくおかフィナンシャルグループとの連携協定に基づき、アントレプレナーシップ教育の実施と大学発ベンチャー創出支援を目的とする寄附講座として、開設されたセンターです。

NFECのミッションは、第一に、長崎大学の全学部生、全大学院生及び社会人履修生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育・人材育成プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供し、自立心・向上心に溢れ、課題解決による新しい価値創造への意欲を持ったアントレプレナーを育成することです。第二に、大学における研究開発成果である技術や知的財産を事業化・実用化するため、大学発ベンチャーの創出を支援し、新産業創造及び地域経済の発展に貢献することです。第三に、アントレプレナーシップ教育やベンチャー創出に関心を持つ地域企業、地方公共団体、他大学・高専・高校等との交流・連携を通じて、地域全体のスタートアップエコシステム、イノベーションエコシステムを構築することです。

今般、NFECのミッションを達成すべく、これまで取り組んできたNFECの活動を振り返り、今後目指すビジョンを展望するために、「活動報告書2019-2021」を作成いたしました。

国立大学法人長崎大学  
研究開発推進機構  
FFGアントレプレナーシップセンター

### 1 メッセージ

- | 1 | 国立大学法人長崎大学／河野 茂 学長 ..... 02
- | 2 | 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ／五島 久 社長 ..... 03

### 2 NFECの活動内容

- | 1 | 組織体制及び活動内容 ..... 04
- | 2 | 活動体制 ..... 05
- | 3 | ビジョン～「起業活動支援」と「意識醸成」の2つのスコープ～ ..... 06

### 3 NFECの活動成果

- | 1 | データで見るNFEC ..... 08
- | 2 | インキュベーション事例 ..... 12
- | 3 | アントレプレナー育成事業「アントレプレナーシップ実践プログラム」 ..... 16
- | 4 | アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム ..... 18
- | 5 | 特別企画 座談会 —NFECに集う若き起業家たち— ..... 20

### 4 NFECの歩み

- | 1 | ヒストリー ..... 22
- | 2 | メディア掲載・講演実績 ..... 23

### 5 NFECメンバー紹介

- | 1 | 教職員・アドバイザリーボード ..... 24
- | 2 | ゲスト講師 ..... 25

### 6 NFECの概要

- | 1 | 概要・ラウンジNOVE ..... 28
- | 2 | NFEC及びラウンジNOVEへのアクセス ..... 29



## 〔1〕国立大学法人長崎大学／河野 茂 学長

アントレプレナーシップ教育と  
大学発ベンチャー創出支援により、  
長崎から日本・世界へはばたく人材を  
輩出し、新産業創出に貢献を!

国立大学法人長崎大学 学長

河野 茂 *Shigeru Kohno*

## 〔2〕株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ／五島 久 社長

FFGアントレプレナーシップ  
センターから  
「長崎の地域エコシステム」を実現

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 代表取締役社長

五島 久 *Hisashi Gotou*

長崎大学は、将来ビジョンとして「プラネタリーヘルスへの貢献」を2020年に宣言しました。本学において「プラネタリーヘルス」とは、地球の健康を支え続けるために有効な解決策を探求し、我々自身の意識変容、行動変容を促す取組みと捉えています。その取組みのためには、現状を常に検証し、地球上の生態系や社会のあるべき最適な姿を立ち止まることなく模索し、科学の視点だけでなく市民・企業・行政などの多様な視点を重ねて、知を駆使しながら、よりよい未来を構築するために有効な解決策を探し続けることが必要不可欠です。

そのような中、2019年10月に、本学とふくおかフィナンシャルグループとの産学連携の協定に基づき、寄付講座として「FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)」を、研究開発推進機構内に開設し、「アントレプレナーシップ教育・人材育成」と「大学発ベンチャー創出支援」への取組みを推進してきました。

長崎大学において、多くの学部生、大学院生、社会人履修生の皆さん、「アントレプレナーシップ教育・人材育成」を通して、自立心・向上心を發揮しながら様々な課題解決に取り組み、新しい価値創造に挑戦することにより起業家精神を培い、長崎を支え、日本、世界で活躍する次世代のアントレプレナーシップ人材となることを期待しています。また、大学の研究成果である技術シーズ(知的財産)のインキュベーションを推進し、長崎大学発ベンチャーの創出を力強く支援することにより、新産業の創出と地域経済の発展に長崎大学が大きく貢献していくことを目指していきます。

長崎では新幹線開通をきっかけとした大型開発が長崎市を中心に進められ、「100年に1度のまちづくり」の経済効果が期待されています。その一方で、少子高齢化の進展から地域活力の低下などの構造的な問題を抱えており、喫緊の課題として地域産業強化による経済の活性化と持続的な発展が求められています。

そのような地域社会の課題と向き合うべく、ふくおかフィナンシャルグループとして、アントレプレナー人材の育成と大学発ベンチャーの創出支援を目的とした「FFGアントレプレナーシップセンター」を2019年に長崎大学の寄付講座として開設いたしました。2021年度には、教育・人材育成プログラムの受講者は1000名を超え、技術シーズの事業化に向けた支援も積極的に行ってています。また、ふくおかフィナンシャルグループでは長崎大学への寄付講座開設に加えて、長崎の自治体と連携した長崎県の新産業・ベンチャー創出に向けた様々な取り組みにより、長崎でのスタートアップ・エコシステム構築に向けた機運醸成に手ごたえを感じております。

今後もふくおかフィナンシャルグループは十八親和銀行ならびにFFGベンチャービジネスパートナーズを通じて、次世代起業家の育成、大学発ベンチャーの創出、スタートアップ・新産業の創出、地域経済の活性化に資する地域エコシステムへ積極的に参画し、長崎経済の発展に貢献する地域金融機関本来の役割を果たしてまいります。

## 2 NFECの活動内容

### 〔1〕組織体制及び活動内容

FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)は、長崎大学とふくおかフィナンシャルグループとの連携協定に基づき「アントレプレナー教育・人材育成」及び「大学発ベンチャー創出」という目標のもと、長崎大学研究開発機構内に開設されたセンターです。

2019年10月より、アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラムの実施から、起業活動支援・インキュベーションプログラムの実施に至るまで一貫したサポートを取り組んでいます。

また、アウトリーチとして、長崎地域の企業、自治体、他学校機関との交流・連携を通じて、地域におけるスタートアップ・エコシステムの構築にも力を入れて活動しています。



■長崎大学の研究者を対象に、技術シーズの発掘・選定、市場調査・特許調査等の実施、ビジネスモデルの開発支援を行い、大学発ベンチャー創出及び投資検討に向けたインキュベーションを行います。

■科学技術振興機構(JST)のSTART/SCORE事業、九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金、キューテック研究開発助成金をはじめとする助成金・GAP資金への応募・獲得支援を行います。



■学部生・大学院生を対象とした「アントレプレナーシップ教育プログラム」社会人履修生を対象とした「アントレプレナーシップ人材育成プログラム(社会人履修証明プログラム)」を実施することにより、アントレプレナーシップに対する意識醸成、アントレプレナーに必須なスキルや知識を習得する機会を提供しています。

■長崎大学キャリアセンターとNFECとが連携して、学部生・大学院生を対象とした「アントレプレナーシップ実践プログラム」を実施することにより、学生自身が企画・立案したプロジェクトに挑戦することを通じて、困難に対峙する力や新価値創造に必要なスキル・能力を養い、実践を通じてアントレプレナーシップを発揮する機会を提供しています。

■オープンイノベーション拠点「ラウンジNOVE」を運営することにより、学生同士や教職員、外部の企業の方々との交流・活動の場を提供し、スタートアップエコシステムの構築やオープンイノベーションの醸成に取り組んでいます。



■NFECとしてオンラインセミナーやシンポジウム等を開催し、NFECの活動について、地域への情報発信、アントレプレナーシップについての啓蒙活動に取り組んでいます。

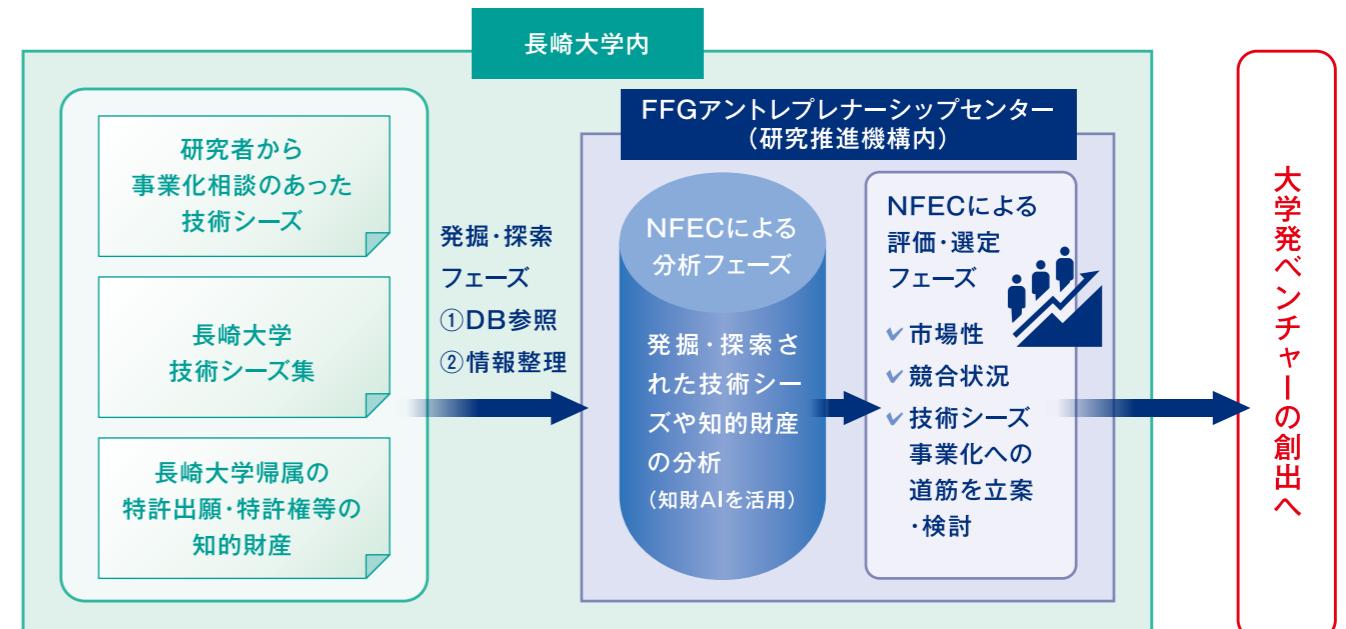
■長崎学生ビジネスプランコンテスト、起業体験イベント Startup Weekend 長崎佐世保をはじめ、地域におけるイベントに参加する学生や教職員等を支援し、地域におけるアントレプレナーシップ醸成、アントレプレナー育成に協力・貢献しています。



### 〔2〕活動体制

#### インキュベーション・起業活動支援体制

- ◆NFECでは、長崎大学の研究者の技術シーズの中から、社会実装・事業化可能性のある技術シーズを探索すべく、研究者から事業化のご相談があった案件、シーズ集に掲載された案件、長崎大学帰属の特許出願や特許権等の知的財産データベースを参照し、情報を整理・分析しています。
- ◆情報を整理・分析した技術シーズについて、NFECでは市場調査や特許調査を行って、市場性や競合状況等を評価し、事業化への道筋を立案・検討するとともに、インキュベーションプログラムやGAP資金獲得支援を行うことにより、大学発ベンチャー創出を目指して活動しています。



#### アントレプレナーシップ教育・人材育成体制

- ◆「NFECアントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム」は、学部生を対象とする入門3科目、大学院修士課程学生及び社会人を対象とする基礎4科目、大学院博士課程及び社会人を対象とする応用3科目、実践2科目、4ステップ全12科目から構成される体系的な教育・人材育成プログラムです(2020年度は全10科目、2021年度は全11科目を開講)。

- ◆受講者に対してNFECから科目ごとに受講完了証としてオープンバッジが発行されます。



## 2 NFECの活動内容

### 〔3〕ビジョン～「起業活動支援」と「意識醸成」の2つのスコープ～

#### ベンチャー企業創出

大学発ベンチャーを創出するためには、インキュベーションから起業に至るまでのプロセスで必要となる「ギャップ資金の獲得」、「CXO人材(経営、財務、市場等の各分野の専門人材)の獲得」、「ビジネス機会の創出」に向けた様々なサポートが求められます。そのためには、①研究者への粘り強い継続的な支援、②学内研究室／教職員との日常的なコミュニケーションの強化、③研究開発推進機構他部門との連携、④大学発ベンチャー創出を成し遂げることへのコミットメントや熱意が不可欠となります。また、長崎経済を支える地域企業や地域自治体との連携も欠かせません。NFECが目指す将来ビジョンの実現は道半ばであり、今後もさらなる積極的な活動を進めてまいります。

#### インキュベーション

大学における研究開発成果である技術シーズや知的財産のインキュベーション支援は、市場調査・特許調査、ビジネスモデル開発を行い、事業化可能性を高めるなど、大学発ベンチャーを創出するために重要なプロセスとなります。学内の技術シーズの発掘・探索を進め、大学発ベンチャー創出のポテンシャルを最大化するべく、さらなる継続的な取り組みが必要です。

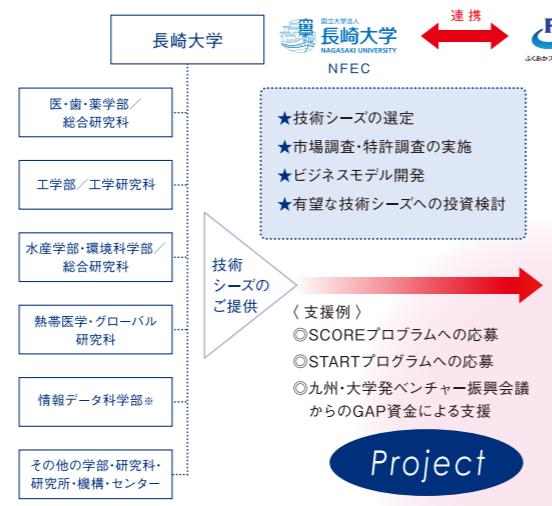
#### アントレプレナーシップ教育・人材育成

学生や社会人に対するアントレプレナーシップ教育・人材育成は、自立心、向上心を持って、多面的な視野・視座・視点により社会課題の解決に取り組む人材、地域に根差した新しい価値創造を行って、地域経済の発展に貢献する人材を輩出し、ひいてはベンチャー創出に向けた機運の醸成やボトムアップに繋がるものと考えています。大学教育の中にアントレプレナーシップ教育を体系的に位置づけて、意識を醸成し、コンピテンシー形成の機会を提供していくことが求められます。



#### SCOPE① 起業活動支援

##### FFGインキュベーションプログラム (市場調査・特許調査実施／ビジネスモデル開発)



##### シーズ発掘・探索/GAP資金獲得支援



##### CXO人材マッチング支援

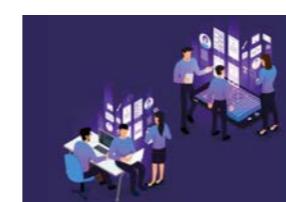


#### SCOPE② 意識醸成

##### アントレプレナーシップ 教育プログラム



##### アントレプレナーシップ 実践プログラム(アントレ体験)



##### 社会人履修証明 プログラム



##### シンポジウム 公開セミナー



##### ラウンジNOVE (オープンイノベーション拠点)



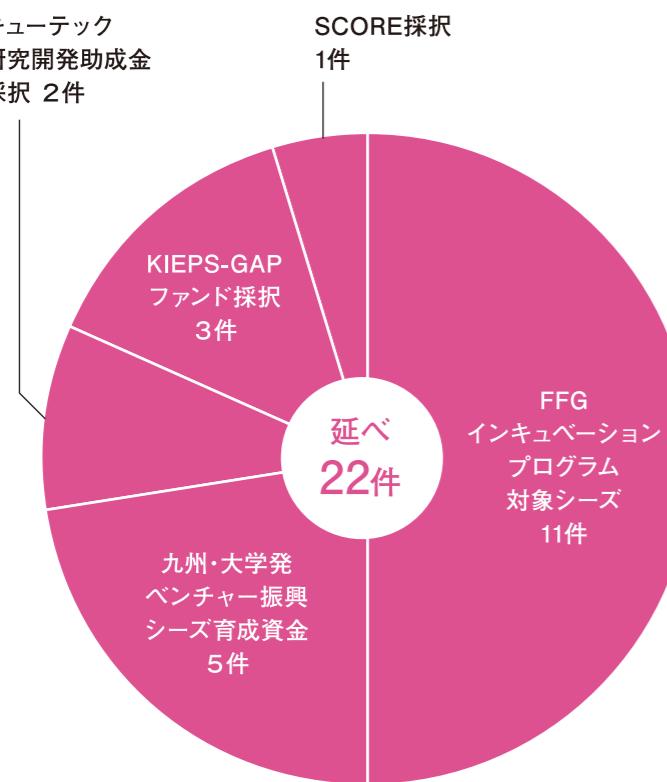
##### 長崎学生ビジネス プランコンテスト



### 3 NFECの活動成果

#### 〔1〕データで見るNFEC①

##### インキュベーション



学内技術シーズを対象としてFFGインキュベーションプログラムを実施とともに、各種助成金やGAPファンド採択により延べ11件、合計53百万円を獲得し、学内研究者の起業活動支援を実施した。

##### 九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金採択 ~5件

- ◆九州・大学発ベンチャー振興会議は、九州域内大学の技術シーズの事業化を目指し実践的支援を産学連携により行うプラットフォーム(会議体)である。
- ◆主に①産業界からの寄付によるGAP資金の提供と、②大学の技術シーズと企業とのマッチングを実施している。
- ◆長崎大学として2020年度2件、2021年度3件、合計5件の技術シーズが、本育成資金に採択された。



##### KIEPS-GAPファンド採択 ~3件

- ◆KIEPS(北九州SDGsイノベーション&アントレプレナーシッププラットフォーム)は、科学技術振興機構(JST)の社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型(拠点都市環境整備型)の予算を活用し、北部九州から、九州全体の産業振興、ユニコーン企業創出を実現するため、九州工業大学、北九州市立大学、長崎大学およびFFGベンチャービジネスパートナーズの4機関により設立されたものである。
- ◆長崎大学においては、下記技術シーズ3件がGAPファンドに採択され、起業活動支援が実施された。

研究テーマ	研究者
底生サメ由来のナノボディ抗体を利用した抗体医薬	長崎大学 先端創薬イノベーションセンター 田中 義正教授
クルマエビ由来の「Dscam」を用いた診断法・治療法の開発	長崎大学 热帯医学研究所 久保 嘉直准教授
皮膚病変を伴う成人T細胞白血病に対する免疫エフェクター細胞療法	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 室田 浩之教授



##### キューテック研究開発助成金採択 ~2件

- ◆一般社団法人ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団(通称:キューテック)は、技術志向型ベンチャー・中小企業の技術及び経営基盤強化や育成を目的に、九州・山口地域におけるベンチャー企業及び大学・高専に対し助成金を交付するFFGグループの一般社団法人である。
- ◆長崎大学としては、2020年度に1件、2021年度に1件、合計2件の技術シーズが、本助成金に採択された。



年	研究テーマ	研究者
2020	次世代抗体医薬開発基盤の構築	長崎大学 先端創薬イノベーションセンター 田中 義正教授
2021	特発性肺線維症に対する免疫細胞輸注療法の開発	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野 坂本 憲穂准教授

##### SCORE採択 ~1件

- ◆科学技術振興機構(JST)の社会還元加速プログラム(SCORE)とは、大学等の優れた技術シーズを基にした成長ポテンシャルの高い大学等発ベンチャーの創出を促進するためのプログラムである。
- ◆長崎大学は、2021年度、SCORE大学推進型(拠点都市環境整備型)に、九州工業大学、北九州市立大学およびFFGベンチャービジネスパートナーズとともに採択され、起業活動支援プログラムの運営、起業家支援人材・指導人材の育成、起業環境整備及びスタートアップ・エコシステム形成に取り組んだ。



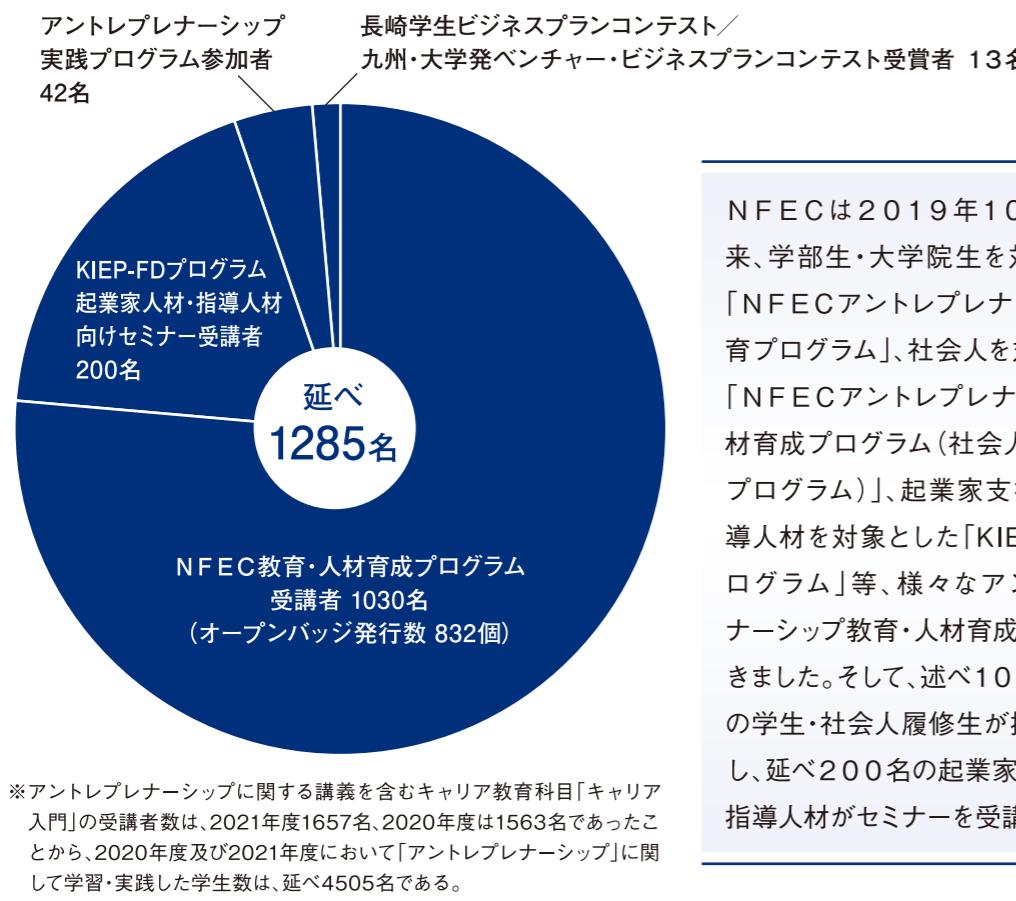
##### 長崎大学発ベンチャー称号授与規程の制定

- ◆長崎大学における研究成果、人的資源等を活用して起業したベンチャー企業に対して、長崎大学発ベンチャーの称号を授与するための規程を制定すべく、2021年度規程内容の検討を行い、2021年3月28日に「長崎大学における長崎大学発ベンチャーの称号授与に関する規程(規程第34号)」を制定した。
- ◆2022年度より「長崎大学発ベンチャー」の称号授与に向けて本制度の運用を開始する。

### 3 NFECの活動成果

#### 〔1〕データで見るNFEC②

##### アントレプレナーシップ教育・人材育成



NFECは2019年10月開設以来、学部生・大学院生を対象とした「NFECアントレプレナーシップ教育プログラム」、社会人を対象とした「NFECアントレプレナーシップ人材育成プログラム（社会人履修証明プログラム）」、起業家支援人材・指導人材を対象とした「KIEPS-FDプログラム」等、様々なアントレプレナーシップ教育・人材育成を実施してきました。そして、述べ1000名以上の学生・社会人履修生が授業を受講し、延べ200名の起業家支援人材・指導人材がセミナーを受講しました。

##### ビジネスプランコンテスト受賞者数

- ◆FFG主催「長崎学生ビジネスプランコンテスト」において受賞者11名を輩出(2020・2021年度合計)。
- ◆長崎大学の学部生が、2020年度から2年連続グランプリを受賞。
- ◆九州ニュービジネス協議会「九州大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト（九州大会）」において、長崎大学から2年連続受賞者を輩出。

長崎学生ビジネスプランコンテスト2021グランプリ・協賛企業賞受賞の山羽香穂さん



##### 長崎学生ビジネスプランコンテスト（敬称略）

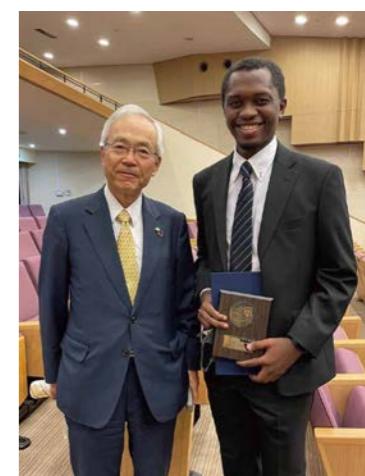
	受賞	テーマ	メンバー
年度 2020	グランプリ・協賛企業賞	VRゲーム×伝統芸能による音楽体験の創出	久保 駿斗
	協賛企業賞	「MATO(一つ的、一つの心)」三日坊主防止アプリ	JUNG JIWON
	協賛企業賞	「SERINA～新しい流通の形～」魚を市場から消費者が購入できるアプリ	鶴田 謙
	協賛企業賞	「高齢者向けのマッチングアプリ」	橋本 航太・春田 希・兵動 勇士
	特別賞	「U-gakusha」優秀な学生と企業とのマッチング	田嶋 智憲・馬場 大暉
年度 2021	グランプリ・協賛企業賞	「Kigae」波佐見焼のサブスク事業	山羽 香穂
	協賛企業賞・特別賞	「農楽苑」高齢者の介護サービスと遊休不動産の活用を組み合わせ	小山田 拓・爲則 啓人

##### 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト（九州大会）（敬称略）

	受賞	テーマ	メンバー
2020年度	優秀賞	「ミツカル」学生向け就職活動支援サイト	宮川 智慧
2021年度	九州経済連合会会長賞	「ヤクカリ」地域薬局同士の医薬品在庫二次流通システム	李 明恩

##### アントレプレナーシップ実践プログラム参加者数

- ◆2021年度より、長崎大学が標榜する実践力の涵養を目指して、「アントレプレナーシップ」をプロジェクト実践による様々な体験を通じて学ぶことにより、「困難に対峙する力」や「新価値創造に必要な能力」を養うことを目的として、キャリアセンターとNFECが本実践プログラムを実施。
- ◆2021年度は、本実践プログラムに15チームが採択され、延べ42名が参加。



##### 【2021年度表彰チーム】（敬称略）

- ◆最優秀賞／学長賞 「myclinic.ng」 Aliyu Bello Aliyu(熱帯医学・グローバルヘルス研究科修士2年)
- ◆優秀賞 「たびぶたい」 菊池将成(経済学部1年)
- ◆奨励賞 「Plan Teas」 森 公希(経済学部総合学科3年)  
「波佐見焼Kigaeプロジェクト」 山羽 香穂(水産学部2年)  
「教育で健康問題を解決」 佐瀬 光雄(医学部医学科1年)

最優秀賞／学長賞のAliyu Bello Aliyuさん(右)と河野 茂学長(左)

##### オープンバッジ発行数

2020年度より「NFEC教育・人材育成プログラム」の受講修了者に対して、国立大学初のオープンバッジをNFECより発行。

※「オープンバッジ」とは、資格・スキル・能力等を示すデジタル証明/認証であり、世界的な技術標準規格に準拠した、偽造・改ざんが困難な信頼性のある学習証明書。



年度	学部生・大学院生対象(個)	社会人履修生対象(個)	合計(個)
2020年度	220	171	391
2021年度	209	232	441
合計	429	403	832

### 3 NFECの活動成果

#### 2 インキュベーション事例

##### KIEPS起業活動支援プログラム・GAPファンド

###### JST事業「社会還元加速プログラム(SCORE) 大学推進型(拠点都市環境整備型)」に採択

###### KIEPS起業活動支援プログラム・GAPファンドの運営

KIEPS起業活動支援プログラム・GAPファンドは、起業に向けて意欲的に取り組む教員等の自己の研究成果に基づく大学発ベンチャーの創出を促進することを目的とし、研究成果実用化の可能性が高い構想・提案に対して、試作品開発等の研究開発資金を提供するものです。資金提供と合わせて、研究代表者と起業活動支援人材等が、事業化支援ノウハウを持つアクセラレーター等による研修やメンタリングを通して、起業に有益な知識を実践的に学習します。あわせて自らの技術シーズを基に実用検証可能な最小限の試作品やデータ(実験結果、計算結果)等を準備し、想定顧客等の評価を受け、その結果や社会ニーズを研究開発にフィードバックすることで想定ビジネスモデル仮説を現実化・高度化させます。2021年度は長崎大学より3名の先生が採択されました。



###### 研究開発課題

###### 底生ザメ由来ナノボディ抗体の開発と事業化

現在難病指定されている自己免疫疾患などの多くの疾患においては、細胞内タンパク質-タンパク質相互作用(PPI)が創薬標的になることが多い。しかし、現存の低分子医薬品および抗体医薬品開発技術では、細胞内PPI阻害剤を開発することは困難である。これを解決する医薬品モダリティーとして、ナノボディ抗体がある。難治性疾患を治療できるようになれば、市場規模は10兆円以上と見込まれる。また、現在、高価な治療薬であるヒト化抗体および完全ヒト抗体を、ナノボディ抗体に置き換えることができれば、近い将来起こると予想されている医療経済の破綻を解消できる可能性がある。また、医薬品開発以外にもナノボディ抗体の事業化形態として、抗体試薬市場や臨床検査薬市場への参入が見込まれる。

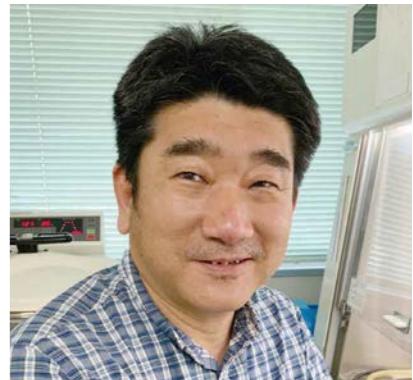


【研究代表者】  
国立大学法人 長崎大学  
先端創薬イノベーションセンター  
センター長・教授 田中 義正 先生

###### 研究開発課題

###### クルマエビ抗体様蛋白質Dscamを用いた診断法・治療法の開発

哺乳類抗体は診断や治療に広く応用されている。しかし哺乳類抗体は2つの遺伝子産物から作られるため、遺伝子工学による単離と改良が困難である。そのため哺乳類抗体を用いた診断法・治療法は高額となり、社会保険財政を圧迫するという問題がある。一方、これまで下等動物は抗体を持たないと考えられていたが、最近、甲殻類において、感染した病原体に依存して多様性が変化し、病原体に直接結合するという抗体と同じ働きを持つ蛋白質Dscamが発見された。Dscamは1つの遺伝子から作られるため、遺伝子工学による単離と改良が容易である。我々は、ヒト病原体ラッサウイルス抗原を接種したクルマエビから単離されたDscamが、ラッサウイルスに結合することを突き止めた。一方、Dscamにはヒト・ホモログが存在し、ヒト化したクルマエビDscamを用いた治療法も考えられる。本研究では、クルマエビDscamを用いた診断法・治療法を開発し、産業展開することを目指す。

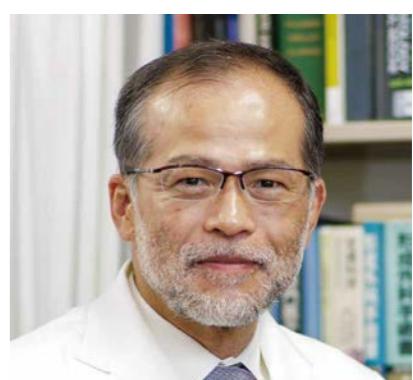


【研究代表者】  
国立大学法人 長崎大学  
熱帯医学研究所  
准教授 久保 嘉直 先生

###### 研究開発課題

###### 皮膚病変を伴う成人T細胞白血病に対する免疫エフェクター細胞療法の事業化

成人T細胞白血病(ATL)は九州・沖縄地方に多いウイルス感染で生じるがんである。しかし、抗がん剤や細胞移植など現行の標準医療に抵抗性の症例も多く、予後は悪い。これまでに申請者らのグループは、 $\gamma\delta$ 型T細胞が効率的に成人T細胞白血病細胞を傷害することを確認し、細胞輸注療法が可能であることを見出してきた。今回、長崎大学病院発ベンチャーを設立し、これまでアカデミアで構築してきた細胞療法の技術を医師主導型治験の枠組みで臨床応用することにより、新規医療事業を展開し、アンメットメディカルニーズに対処する細胞医療モダリティーを確立する。



【研究代表者】  
国立大学法人 長崎大学  
大学院医薬学総合研究科  
皮膚病態学分野  
教授 室田 浩之 先生

### 3 NFECの活動成果

#### 2 インキュベーション事例

##### 九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金

「九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金(ギャップ資金)」は、新たな事業・サービスとして有望で、その起業に意欲的な大学研究者等のシーズに対して、事業性の検証等を支援し、大学発ベンチャーの速やかな創出を目的としています。2019年度より、長崎大学から5件の技術シーズが採択され、本資金による支援を受けました。

年	研究開発課題(技術シーズ)	研究者
2019年度	指先一つで社会とつながる高齢者向けソーシャルメディア仲介ロボットの商品化	大学院工学研究科 小林 透教授
2020年度	病気を媒介する昆虫対策に必要な研究・フィールドワーク用品の開発とその商品化	熱帯医学研究所生態疫学分野 星 友矩助教
	水産業における定置網漁へのIoT活用	大学院工学研究科システム工学専攻 博士後期課程 深江一輝氏
2021年度	東南アジアのアナツバメの捕獲および行動追跡ツールキット	総合生産科学域環境科学系 太田 貴大准教授
	薄板寸法の非接触オンライン検査	大学院工学研究科 矢澤 孝哲教授

###### 研究開発課題

###### 病気を媒介する昆虫対策に必要な研究・フィールドワーク用品の開発とその商品化

蚊やマダニのような病気を運ぶ害虫対策に必要な研究機材やフィールドワーク用品の開発と商品化に挑むため、「九州・大学発ベンチャー振興会議」\*のシーズ育成資金(ギャップ資金)に申請しました。本会議の会員である十八親和銀行と九州オープンイノベーションセンターからシーズ育成資金を頂き、数々の試作品を作成しました。特に十八親和銀行様のご紹介で様々な地元企業や事業家の方々と連携し、10を超える試作品の実証試験を成し得たのは、シーズ育成資金の枠組みだから達成できたことです。また熱帯医学研究所では免疫病態制御学分野やウイルス学分野と共に次世代の昆虫捕獲装置を完成させました。装置は長崎大学知的財産室の協力もあり、開発開始から僅か7ヶ月で特許出願が叶いました。シーズ育成資金をきっかけに事業化は大きく前進し、2022年6月6日、私と川田均先生の2名体制で株式会社フィールドワーカーズは起業に至りました。社名は「フィールドワークを基盤に製品を創る」という意味合いが込められており、現場での実践を重視しています。会社経営でも現場で実践的に学び、長崎大学とも連携し、世界に誇れる熱帯医学研究に取組む企業を目指し尽力する所存です。

\*大学発ベンチャー育成のためのプラットフォーム  
(13大学、15事業会社、11金融機関、1VC、6経済団体で構成、令和4年6月9日時点)

国立大学法人 長崎大学  
熱帯医学研究所  
助教 星 友矩 先生



##### 長崎大学から羽ばたく大学発ベンチャー



株式会社レボーン CEO 松岡 広明氏

###### [略歴]

1990年千葉県生まれ、福岡県北九州市育ち。2004年ポルトガルで行われた第8回RoboCup世界大会に参加し、僅か13歳で準優勝。長崎大学工学研究科へ進学後、主にドローンなどを使った災害時におけるシステムの研究・開発を行う。大学院在学中に、株式会社レボーンを創業。IoTやハードウェア領域における研究開発や、ソリューション開発を行う。

###### 事業内容

###### 香り×AI×IoTにおける研究開発

匂いをセンターで感知して、何の匂いかを特定する技術を活用して、食品工場の製造ラインや酒蔵、ホテル、オフィスなどで、匂いや香りの課題をお持ちの企業様や、PRとして香り×人工知能(AI)を利用したい企業様に向けて、独自に開発したハードからソフトまで提供しています。



独自開発のIoTにおいセンサ  
OBRE(オブレ)



データ管理プラットフォーム  
iinioi® cloud(イニオイクラウド)

###### 香りのデータ化

産業界では、識別や判定をいまだ専門家の感覚に頼っており、データ化により識別や判定を誰でも可能にし、食品の品質管理や快適な生活空間づくりなどに役立てたいと考えています。今後は、匂いをセンサーで情報化し、人工知能(AI)で解析することで「人間の鼻」を再現したいと考えています。

###### 今後の意気込み

「ロボットに何故鼻がないのか」という疑問がREVORNの設立のきっかけとなりました。人間が有する五感のうちでも、嗅覚の再現には大きな文明や産業が生まれる可能性があると感じています。どんな匂いも我々に問い合わせてもらえば、この匂いです、と答えを返せるような「匂いのGoogle」になることを目指しています。

### 3 NFECの活動成果

#### 〔3〕アントレプレナー育成事業「アントレプレナーシップ実践プログラム」

##### アントレプレナーシップ実践プログラム

～Realize Your Creativity～

本事業は、長崎大学が標榜する実践力を涵養すると  
いう教育目標に不可欠な事業として、  
「起業家精神(アントレプレナーシップ)」を  
様々な体験を通じて学ぶことにより、  
学生が社会における自分のあり方を考え、  
困難に対峙する力や新価値創造に必要な力を  
養うことを目的として実施するものです。



##### N1 project



##### 01 planteas

質の良いそぎ茶を多くの人に知つ  
もらうために、お茶の文化を新しい  
カタチで伝えていくプロジェクト。現  
在そぎ抹茶×チーズ×タルトの商  
品開発に取り組んでいる。



##### 02 kigae project

波佐見焼のシェアリングサービス。  
メーカーから余剰在庫やB級品  
などの価値が下がってしまった商品  
をお借りし、月額500円でユーザー  
にシェアするサービスを検討中。



##### 03 myclinic.ng

何百万人ものナイジェリア人に、薬局  
を遠隔医療のアクセスポイントとし  
て利用し、資格を持った医師による  
電話での遠隔診療を迅速かつ安価  
に提供するプロジェクト。

##### N2 / N3 project

##### 04 コウノトリ

妊娠婦のお母さんたちが不安を抱えながら子育てをしている現状が少子化につながっているのではないか?という課題意識から、親子でも楽しめるライブ企画の実施や、子育て情報のマッピングなどに取り組む。

##### 05 釣りを気軽に

水産業の衰退という問題を考えた際に、「みんなが海に対して興味がない!」という課題に気付き、海への関心を高める気軽な釣りイベントや釣り行動をしやすくなるWEBサービス開発に取り組んでいる。

##### 06 MAGSO×ししのこ

ケニアのMAGSO schoolのユースセンターで性教育を行い、ケニアで行った性教育を日本にも還元するプロジェクト。ケニアと日本の両国で活動することでそれぞれの国の性に関する価値観の違いから学ぶことも目指している。

##### 07 喋るシャープペンシル

応援や励ましの言葉を「喋る」シャープペンシルの開発・販売を目指すプロジェクト。商品化を目指して、ハードウェアの実現可能性の確認とコンテンツ検討を進めている。

##### 08 Pionierピオニール

「今の長崎をどれだけ面白くできるのか?」をテーマに、様々なカルチャーを通じて若者から"面白さ"を追求できる実験的な空間づくりを行うプロジェクト。

##### 09 戦術AI搭載ドローンを 用いた狩猟

高齢化が進む狩猟業界に「狩猟にIoTを取り入れる」をコンセプトとしたアクションを行い、最終的にはドローンを用いて、追い込み漁のように獣を罠に誘い込むことを目指している。

##### 10 日常のなぜ?から未来を 創る、なんでも探検隊

自分たちの「気になる!」ことを挙げ、五感を使って探検(=実験)すること、それを発信することに取り組むプロジェクト。毎週木曜に探検している内容は、Instagramにて発信している。

##### 11 長所と長所のマッチング

Front Line Project は、学生のアイデアの提供と経験の場所をつくる活動を行う団体。Front Line Projectが行う「長所と長所のマッチング」プロジェクトは、優れた技術をもつ中小企業同士を繋げる企画を行っている。

##### 12 教育で健康問題を解決

誰にとっても身近な「手洗い」をきっかけに、学校教育でのヘルスリテラシーを高めるプロジェクト。現在、シオノギ製薬とコラボレーションし、手洗い教室を行う活動や、手洗いムービーコンテストの開催などを予定している。

##### 13 食文化研究会

「大人のお子様ランチ」として注目されているトルコライス。しかしその発祥は不明であるがゆえに定義は明確になっていない。食文化研究会では、この謎に包まれた長崎名物トルコライスを調査・分析するプロジェクトである。

##### 14 たびぶたい

長崎の大学生・高校生向け格安バスツアーの提案や、誰にとってもわかりやすい新しい形の観光アプリ、Webサイトの開発に取り組み、バスを通じて長崎の魅力を体感し、活発な長崎内移動を促進するプロジェクト。

##### 15 ミライズ

人口流出率の高い長崎県。中でも高校卒業後の学生の流出が著しい。そんな高校生に長崎の良さを知ってもらうためのプロジェクト。高校へ訪問しての後援会の実施や、大学内の座談会の実施に取り組んでいる。

### 3 NFECの活動成果

#### 〔4〕アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム

##### 教育・人材育成プログラムロードマップ&スケジュール(2021年度)

科目レベル	履修対象者	2021年度 前期		夏期集中	2021年度 後期				
		第1クオーター	第2クオーター		第3クオーター	第4クオーター			
		4~6月	6~8月		8~9月	9~12月			
チャレンジイベント	アントレプレナーシップ実践プログラム(学内)	「アントレプレナーシップ実践プログラム～Realize your Creativity!～」とは、NFEC教育プログラムで学習した内容に基づき、学生自ら企画・立案したプロジェクトに挑戦する実践プログラムです。長崎大学の学部生、院生を中心として構成される学生チームが、自ら企画・立案したプロジェクトテーマについて応募(5~6月)し、審査会(7月)の審査を経て採択されると、プロジェクトに対して活動推進費が助成されます。学生皆さんの若い感性と斬新な視点を活かして発想したアイデアを活かし企画・立案したプロジェクトを通じて、学生自らがアントレプレナーシップと創造性を発揮することを目的としたプログラムです。	産などの地域の特色を活かしたビジネスアイデアなどについて応募(6~7月)し、教育プログラム(7~8月)に参加してアイデアをブラッシュアップした後、コンテスト(9月)に挑戦することができます。	した事業などを応募(7月~9月)し、1次審査(10月)、2次プレゼン審査(11月)を経て、勝ち残ると最終プレゼン審査(12月)に挑戦することができます。ここで入賞すると、賞金が授与され、ビジネスコンテストの全国大会に挑戦する権利を得ることができます。					
	長崎学生ビジネスプランコンテスト2021	「長崎学生ビジネスプランコンテスト2021」とは、起業を目指す、または既に起業している長崎県内の大学生、高専生、大学院生、留学生などを対象としたビジネスプランコンテストです。大学や高専などの技術シーズを活用したビジネス、社会課題を解決するビジネスアイデア、食や農業、観光、海洋、水							
	九州・大学発ビジネスプランコンテスト	「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」とは、起業を目指す、または既に起業している九州内の大学生、院生、研究者、留学生、高専生、短大生、専門学校生等を対象として、学内の技術シーズを活用した事業や社会の課題解決アイデア、食や農業、観光海洋、水産などの九州の特色を活か							
実践プログラム科目	社会人対象								
応用プログラム科目		<span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">◆アイデア創出・デザイン思考演習 6/5(土)2~5時限 6/6(日)2~5時限</span>		<span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">◆技術マネジメント・組織論 11/27(土)2~5時限 12/5(日)2~5時限</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">●◆アントレプレナーシップ応用(ビジネスプランning) 9/29~11/24 毎週水曜6時限</span>					
基礎プログラム科目	社会人・大学院生対象			<span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">●◆技術マーケティング・顧客開発論 9/25(土)2~5時限 9/26(日)2~5時限</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">●◆アントレプレナー・ファイナンス論 8/6(金)・8/10(火)5・6時限 8/7(土)2~5時限</span>					
入門プログラム科目	学部生対象	<span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">★アントレプレナーシップ入門 4/14~6/9 每週水曜5・6時限</span>		<span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">★事業創造・スタートアップ入門 9/29~11/24 每週水曜5・6時限</span>					
		第1クオーター(4~6月)	第2クオーター(6~8月)	夏期集中(8~9月)	第3クオーター(9~12月)	第4クオーター(12~2月)			

★学部生対象科目 ●大学院生及び社会人対象科目 ◆社会人対象科目



長崎大学 経済学部 1年  
(2021年度)  
松本 日菜さん

私がこの講義を履修した時は、アントレプレナーシップとは何かも知らなかったし、将来起業をしようと考えていたわけでもありませんでした。ただ、将来的には社会人として働くため、大企業やベンチャーなど実社会の様々な現場で活躍されている方々のお話を聞くことは貴重な経験だと思い、この講義を履修しました。毎回の講義でゲスト講師の方々が語られる今までの困難や何か成し遂げられたお話は、私のチャレンジ精神を掻き立ててくれました。「失敗を恐れずチャレンジする」という聞き慣れた言葉も、講師の方々の情熱的なストーリーを聞き、改めて重要な事として自分に落とし込むことができました。私は今、この講義をきっかけにアントレプレナーシップ実践プログラムに参加し、スイーツの商品開発によって地域を盛り上げるプロジェクトに挑戦しています。この挑戦に踏み出す勇気をくれたのがこの講義でした。



2021年度社会人履修証明  
プログラム履修生  
株式会社オリエントアイエヌジー  
陣内 勝久さん

「日常」とは、つねひごろ毎日繰り返されること…である。実は、ステレオタイプの毎日にこそ隠れた課題があるのです(講義の中で私が思わず膝を打った言葉)。

組織人としての私には、「起業家精神」の考え方は馴染まないだろうと思っていた。しかし、本プログラムは、起業だけに特化しているわけではなく、事業の全体像について体系的に学ぶことができます。私は本プログラムを通して、アンコンシャス・バイアスについての気づきがあり、組織における自分のあるべき姿を整理することができたと感じています。

アントレプレナーシップの学習に加えて、久しぶりに学生という立場を楽しむことができる、刺激的でノスタルジックな1年間をぜひ体験してみてください。

### 3 NFECの活動成果

#### 〔5〕アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム「特別企画 座談会」

##### 座談会－NFECに集う若き起業家たち－（※2021年9月時点）

座談会に臨んだ長崎大学在学生の皆さんは、自ら起業したり、これから起業を目指すなどアントレプレナーシップ旺盛な人材です。

NFECはこの4人にとっての活動拠点であり、学びと挑戦の場です。

座談会でアントレプレナーに対する思いを熱く語っていただきました。

「お金を稼ぐことは必要だが、本来やりたいことも両立したい！」（山羽）

「起業して良かった点は、普段、大学の中にいても知り合えなかった方々と関われるようになったこと」（宮川）

「NFECは、長崎大学内において産学官を繋ぐ“出島”的役割を果たす存在だと身をもって感じています。」（橋爪）

「僕は就職する予定です。アントレ活動は、自分でインプットしたことをアウトプットできる機会と考えています。」（松浦）



上條「プロジェクトへの参画後、周囲の目や自分自身に変化は？」

山羽「自分が今まで挑戦したかったことに取り組んだだけで、自分の思想や周囲の反応に大きな変化はありませんが、自分を評価される機会が増えたことで自分を見つめる機会が増えました。年齢の離れた方と話をしたり、ご意見をいただきたり、長崎に関係なく遠方でバリバリ仕事をされている方ともプロジェクトについてお話をできる機会ができました。仕事を通して、普段の大学での会話とは全く異なるコミュニケーションが取れています。」

橋爪「それは、仕事を通して価値観の共有ができるから、相手のポジションに関係なく中身のある話ができるのでしょうか。だからこそ磨きあえるのだと思います。」

宮川「普段大学にいても知り合えなかったような方と関わるようになり、起業してよかったです。」

上條「普段は学生というフィルターがありますが、起業家としてコミットした状態だからこそ得られる成果だと思います。」

上條「5年後10年後の自らの姿は？今の経験をどう繋げたい？」

山羽「起業家や起業に興味がある学生の間では、普通に就職するのは間違っているという意見もありますが、そうは思いません。就職はいい経験だし、副業の時代、起業経験があれば、就職の傍らで事業できると思います。一方で、就職し安定収入を得たい

という観点から起業に踏み出せない友人もいます。お金を稼ぐための軸は欲しいが、やりたいことも両立できる生き方をしたい。私も普段お金大切っていってますけどね（笑）。やりたいことも両立できるって選択肢ができたことが、私にとっては大きいです。」

宮川「思いの部分が大きくあれば、お金は後からついてくると思います。」

松浦「僕は就職する予定です。大学卒業後、大学院に進んで就職しようかなと。僕にとって今の仕事は趣味みたいなものです。趣味がお金になっている。仕事をしながらでも続けられるし、一人でできることだから大学生活はずっと学びを増やしてきた。（今のプロジェクトは）インプットしたことのアウトプット場。今後もインプットし続けたいです。」

上條「自分の趣味の延長でもいいですから、学生のうちに実際に起業したり、プロジェクトを回したり、自分で事業を立ち上げてみた経験が、将来的に様々な仕事の場面で活かされると思います。」

上條「NFECやラウンジNOVEは活用できていますか。また要望は？大学でアントレプレナーシップ教育を受ける意義は？」

松浦「興味を持ってもらう機会としては十分だと思います。当初は起業するつもりはなく、個人事業主なんてハードルが高いと思っていましたが、実際は紙一枚提出すればできました。始めの一歩の知識がもっと早く欲しかったです。アントレ教育を受けた

[聞き手] 上條由紀子  
長崎大学研究開発機構  
FFGアントレプレナーシップセンター長／教授

ことで、活かせる知識を得た一方で、足りないことへの気づきもありました。たくさんの気づきとゲスト講師に出会える場はここしかないと思うので、ぜひ継続してもらいたいです。」

山羽「私は授業を受けていませんが、NOVEの立ち上げからNFECに関わらせていただきました。起業しなくてもやりたいことはできることを学びました。この場にいるからこそ会える人や入ってくる情報があり、同じ考えを持っている人の存在に気付いたし、自分は行動までには至らなかったものの、実際に動いている同年代の学生の存在も知ることができました。」

宮川「NFECやNOVEはいい存在だと思います。私が築町に企業の協賛を募ってコミュニティースペースを作ったのも、高校生や企業さんがふらっと立ち寄って会話が生まれることを目指したからです。」

橋爪「自分自身の起業のきっかけも大学の域を越えた交流でした。社会人履修生がいらっしゃるPBLの授業で一緒にした社会人の方に、一緒に創業しようと誘われて、はじめて起業するための実務的なプロセスや手段を学びました。そのようなきっかけを得るために、NFECのような産官学を繋ぐ「出島」の役割を果たす存在が、長崎大学内に必要なのではないでしょうか。またこれまで、卒業後の進路として就職をしないで起業することが絵空事と捉えられていたことに対して、NFECをはじめ学生が本当にやりたいことを叶えられるスタートアップ環境が長崎に充実してきたことで、学生にとっても起業が一つの選択肢となりつつあることを実感しています。」



##### ● 松浦 栄人さん

水産学部3年 静岡県出身  
たつのこSTUDIO代表。  
ドローンの空撮などを手がける。

##### ● 山羽 香穂さん

水産学部3年 三重県出身  
波佐見焼シェアリングサービス「Kigae」で長崎学生ビジネスプランコンテスト2021グランプリ受賞。  
きっかけは波佐見焼を扱うお店でのアルバイト経験。「Kigae」とは「器を変える、着替える」を意味する。

##### ● 宮川 智慧さん

教育学部4年 熊本県出身  
(株)PalFlags代表取締役。  
バルは仲間、仲間と共に地方全国に旗を立てていく。  
ながさき若者発信基地「Build Space」を運営。

##### ● 橋爪 海さん

経済学部4年 福岡県出身  
(株)UNITIATIVE代表取締役。  
(株)PUKPUK 代表取締役CEO。  
University×Initiative 地域に潜在する価値を活かしたものづくり、学習ラウンジ「Todai」を運営。

## 4 NFECの歩み

### [ 1 ] ヒストリー

2019	
2019/10	FFGアントレプレナーシップセンター開設 長崎大学とふくおかフィンシャルグループとの連携協定に基づき、FFGアントレプレナーシップセンターを寄付講座として研究開発推進機構の一部門として設置しました。
2019/12	キックオフシンポジウム開催(学内外から参加者150名以上) キックオフシンポジウムでは、河野茂学長、ふくおかフィンシャルグループの柴戸隆成会長兼社長(当時)、長崎県の平田研副知事の挨拶の後、株式会社ユーレナの出雲充社長の基調講演「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました」が行われました。
2020	
2020/4	アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム開講
2020/9	長崎学生ビジネスプランコンテスト 2020 開催(長崎大学からの参加者24名) 長崎大学から参加した学生のうち、8名(グランプリ1名、その他受賞7名)が受賞しました。
2020/12	オープンイノベーション拠点「ラウンジNOVE」を学内に開設 
2021/3	一周年記念シンポジウム開催(参加人数78人) 一周年記念シンポジウムでは、河野茂学長、十八親和銀行森拓二郎取締役頭取(当時)、長崎県の平田研副知事の挨拶の後、東京大学大学院工学系研究科教授/産学協創推進本部副本部長であり、日本ベンチャー学会会長の各務茂夫氏による基調講演が行われました。
2021	
2021/5	JST 社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型(拠点都市環境整備型)に採択 九州工業大学、長崎大学、北九州市立大学、FFGベンチャービジネスパートナーズの4機関からなる「北九州SDGsイノベーション&アントレプレナーシップ・プラットフォーム(KIEPS)」を構築し、起業活動支援、起業家育成に取り組む指導・支援人材の育成、起業環境の整備及びスタートアップ・エコシステムの形成に取り組みました。
2021/7	KIEPSキックオフシンポジウム開催(学内外から参加者200名以上) 
2021/11	長崎学生ビジネスプランコンテスト2021 開催(長崎大学からの参加者18名) 長崎大学から参加した学生のうち、3名(グランプリ1名、その他受賞2名)が受賞しました。
2022/3	九州地区Demo DAY:GAPNEXT/KIEPS 合同開催(学内外から130名以上が参加) 

### [ 2 ] メディア掲載・講演実績

発表日	発表元・発表場所	概要・タイトル
2019/4.25	日本経済新聞	長崎大で起業家養成 ふくおかFGが拠点・講座
2019/11.10	T.M.C例会	講演「長崎大学FFGアントレプレナーシップセンターの挑戦~長崎からAppleを!」(島原市Top Management Club)
2019/11.13	十八銀行思友会	講演「長崎大学FFGアントレプレナーシップセンターの挑戦~長崎からAppleを!」(思案橋支店)
2019/12.6	長崎経済新聞	長崎大学に「FFGアントレプレナーシップセンター」開設 イノベーションの中心地目指す
2019/12.7	長崎経済新聞	長崎で「アントレプレナーシップ」シンポジウム 大学発ベンチャーの実態を知るきっかけに
2020/4.15	長崎新聞	長崎大とFFG 起業、経営 学ぶ社会人募集 来月15日まで
2020/12.3	長崎新聞	学生×FFG イノベーション 「人がつながる場」学生主導、ラウンジ開設
2021/3.22	COINBOX	教育×デジタル技術「エドテック」、大学などで始動へ
2021/5.20	シンクながさき	長崎大学FFGアントレプレナーシップセンターが目指すもの
2021/6.18	日本ベンチャー学会	講演「長崎大学研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンターの取組み及びアントレプレナーシップ教育プログラムの実施」(制度委員会)
2021/7.20	miraiダイバー・KTN	「ロボットに鼻を作りたい!」ベンチャー企業の社長が長崎大学で講義
2021/11.7	長崎新聞	月500円で波佐見焼レンタル 長崎大「Kigae」グランプリ 学生ビジネスプランコン
2021/11.9	西日本新聞	起業体験イベントで新事業審査「マッスルバンク」が優勝 筋トレ愛好家サイトを発案
2021/11.13	長崎新聞	新規事業学ぶイベント 優勝は"筋トレ愛好者"交流サイト佐世保で開催
2021/11.17	西日本新聞me	筋トレ愛好家サイト発案 佐世保の新規事業審査で「マッスルバンク」V
2021/11.17	長崎新聞	月500円で波佐見焼レンタル 長崎大「Kigae」グランプリ
2021/11.22	長崎新聞	魅力発信イベント提案 長崎学生サミット 5団体参加
2022/1.10	長崎新聞	きょう成人の日 コロナ禍ばねにイベント企画 長崎大生ユニット「ピオニール」「面白い輪広げ、楽しい街に」
2022/3.4	長崎新聞	コラム「石だたみ」 アントレ実践プログラム「たびぶたい」の活動紹介

## 5 NFECメンバー紹介

### 〔1〕教職員・アドバイザリーボード

#### NFEC教職員



センター長・教授・弁理士  
上條 由紀子



副センター長  
田崎 裕基



准教授  
原口 唯

#### 非常勤講師



国立大学法人宮崎大学  
地域資源創成学部講師  
土屋 有

〔担当科目〕

技術マーケティング・顧客開発論



国立研究開発法人情報通信研究機構  
脳情報通信融合研究センター企画室 マネージャー  
松橋 俊彦

〔担当科目〕

イノベーション論(イノベーション、  
技術戦略・知財戦略・出島戦略)



株式会社FFGベンチャー  
ビジネスパートナーズ 副社長  
山口 泰久

〔担当科目〕

アントレプレナーシップ応用  
(ビジネスプランニング演習)



株式会社十八親和銀行 主任調査役  
センター長・教授(2019.10-2021.5)  
山下 淳司

〔担当科目〕

アントレプレナー・ファイナンス論

#### アドバイザリーボード



東京大学 大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授  
産学協創推進本部 副本部長  
一般社団法人日本ベンチャー学会 会長  
各務 茂夫氏

一般社団法人/  
株式会社Eirene University 代表  
アイリーニ・マネジメント・スクール 学長  
柏野 尊徳氏



e.lab (Entrepreneurship Laboratory)代表  
鹿児島大学 客員教授  
元九州大学 産学連携センター教授／  
ロバート・ファン・アントレプレナーシップ・センター 創設者・初代センター長  
谷川 徹氏

協和機電工業株式会社  
代表取締役会長  
坂井 秀之氏



株式会社十八親和銀行  
取締役会長  
森 拓二郎氏

### 〔2〕ゲスト講師(2020・2021年度実績・五十音順)



アイデアプラント 代表  
石井 力重氏  
〔2020・2021年度〕

担当科目／アイデア創出・  
デザイン思考入門



NOVIGO Pharma株式会社  
代表取締役  
石濱 航平氏  
〔2021年度〕

担当科目／先端技術事業化論2  
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社GameWith 取締役  
伊藤 修次郎氏  
〔2021年度〕

担当科目／技術マネジメント・  
組織論



慶應義塾大学 特任教授  
岩宮 貴紘氏  
〔2020年度〕

担当科目／先端技術事業化論2  
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



日本環境設計株式会社  
取締役会長  
岩元 美智彦氏  
〔2020・2021年度〕

担当科目／キャリア入門、  
技術マネジメント・組織論



Blue Empathy 代表プランナー  
大塚 智子氏  
〔2020・2021年度〕

担当科目／アイデア創出・  
デザイン思考入門



株式会社 エムズコミュニケーション  
代表取締役  
岡田 祐子氏  
〔2021年度〕

担当科目／先端技術事業化論1  
(AI/IOT/ブロックチェーン)



筑波大学国際産学連携本部  
准教授  
尾崎 典明氏  
〔2020・2021年度〕

担当科目／イノベーション論、  
技術マネジメント・組織論



Co-founder of Cryptoeconomics Lab  
落合 渉悟氏  
〔2020年度〕

担当科目／先端技術事業化論1  
(AI/IOT/ブロックチェーン)



Craif株式会社 CEO  
小野瀬 隆一氏  
〔2021年度〕

担当科目／先端技術事業化論2  
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社Cryptoeconomics Lab  
代表取締役社長  
片岡 拓氏〔2020年度〕

担当科目／先端技術事業化論1  
(AI/IOT/ブロックチェーン)



アイリス株式会社共同創業  
取締役副社長CS  
加藤 浩晃氏  
〔2020年度〕

担当科目／先端技術事業化論2  
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社SEE THE SUN  
代表取締役  
金丸 美樹氏  
〔2021年度〕

担当科目／事業創造・  
スタートアップ入門



国際協力機構  
九州センター(JICA九州)  
企業連携課 兼市民参加協力課  
専任理事  
上島 篤志氏  
〔2021年度〕

担当科目／技術マネジメント・組織論



株式会社ninpath  
代表取締役CEO  
神田 大輔氏  
〔2021年度〕

担当科目／先端技術事業化論2  
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



たべものCo./いきものCo. 代表  
菊池 紳氏  
〔2020・2021年度〕

担当科目／アントレプレナーシップ入門  
先端技術事業化論1  
(AI/IOT/ブロックチェーン)  
技術マネジメント・組織論



株式会社iINTO(イントゥ)  
代表取締役  
小松崎 友子氏  
〔2020・2021年度〕

担当科目／アントレプレナー<sup>シップ</sup>入門



はつな知財事務所 所長弁理士  
五味 和泰氏  
〔2021年度〕

担当科目／事業創造・  
スタートアップ入門



株式会社AI Samurai  
代表取締役社長 CEO  
白坂 一氏  
〔2020年度〕

担当科目／先端技術事業化論1  
(AI/IOT/ブロックチェーン)



株式会社Kabuk Style  
代表取締役  
砂田 憲治氏  
〔2021年度〕

担当科目／アントレプレナー<sup>シップ</sup>入門



株式会社スマートラウンド  
代表取締役社長  
砂川 大氏〔2021年度〕

担当科目／先端技術事業化論1  
(AI/IOT/ブロックチェーン)

## 5 NFECメンバー紹介

### 〔2〕ゲスト講師(2020・2021年度実績・五十音順)

 <p>国立大学法人東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授 <b>仙石 慎太郎氏</b> [2020年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>金沢工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授 <b>高橋 真木子氏</b> [2020年度] 担当科目／技術マネジメント・組織論</p>	 <p>株式会社イノカ CEO <b>高倉 葉太氏</b> [2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>	 <p>一般財団法人SFCフォーラム 事務局長 <b>廣川 克也氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／技術マネジメント・組織論</p>	 <p>東北大学 経済学研究科 教授 <b>福嶋 路氏</b> [2020年度] 担当科目／技術マネジメント・組織論</p>	 <p>プレモパートナー株式会社 取締役CSO <b>前田 祐二郎氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／先端技術事業化セミナー・ワークショップ KIEPS FDプログラム</p>
 <p>ドコモ・ヘルスケア株式会社 代表取締役 <b>竹林 一氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門 事業創造・スタートアップ入門</p>	 <p>株式会社ユニコーンファーム CEO <b>田所 雅之氏</b> [2020年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>	 <p>株式会社KLleon 日本代表 (ジャパンカントリーマネージャー) <b>崔 耿美氏</b> [2021年度] 担当科目／先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン)</p>	 <p>早稲田大学ビジネススクール 准教授 <b>牧 兼充氏</b> [2020年度] 担当科目／Social Entrepreneurship 社会企業論(熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目)</p>	 <p>森、濱田松本法律事務所 パートナー弁護士 <b>増田 雅史氏</b> [2021年度] 担当科目／KIEPS FDプログラム</p>	 <p>株式会社レポート 代表取締役 <b>松岡 広明氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン) アントレプレナーシップ入門 アントレプレナー・ファイナンス論</p>
 <p>株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ シニアマネージャー <b>長 秀俊氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／アントレプレナー・ファイナンス論</p>	 <p>サグリ株式会社 代表取締役 <b>坪井 俊輔氏</b> [2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>	 <p>MamaLeaf株式会社 代表取締役 <b>豊福 鮎美氏</b> [2021年度] 担当科目／技術マネジメント・組織論</p>	 <p>合同会社SARR 代表執行社員／医学博士 <b>松田 一敬氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>長崎県 企画部 政策監 <b>三上 建治氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門 先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン)</p>	 <p>オーシャンソリューションテクノロジー株式会社 代表取締役 <b>水上 陽介氏</b> [2021年度] 担当科目／先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン)</p>
 <p>株式会社Ringfish 代表取締役 <b>中澤 雄一郎氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／アイデア創出・デザイン思考演習</p>	 <p>株式会社NTTe-Sports 取締役 <b>中島 賢一氏</b> [2020年度] 担当科目／先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン)</p>	 <p>株式会社カケハシ 代表取締役社長 <b>中尾 豊氏</b> [2020年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>NTTアドバンステクノロジ株式会社 マーケティング部門部門長 <b>三宅 泰世氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門</p>	 <p>株式会社 和える 代表取締役 <b>矢島 里佳氏</b> [2021年度] 担当科目／KIEPS FDプログラム</p>	 <p>グレートジャーニー合同会社 代表 <b>安川 新一郎氏</b> [2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>
 <p>株式会社イグアス CEO <b>中村 あきら氏</b> [2020年度] 担当科目／技術マネジメント・組織論</p>	 <p>アンター株式会社 代表取締役 <b>中山 俊氏</b> [2021年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>NPO法人ミラツク・株式会社エッセンス 代表理事・代表取締役 <b>西村 勇也氏</b> [2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>	 <p>Medii株式会社 代表取締役 医師/CEO <b>山田 裕揮氏</b> [2020年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>KAICO株式会社 代表取締役社長 <b>大和 建太氏</b> [2020年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>ビジネスモデルイノベーション協会 代表理事 <b>山本 伸氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／Social Entrepreneurship 社会企業論(熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目) KIEPS FDプログラム</p>
 <p>特定非営利活動法人 インビジブル 理事長 <b>林 暁甫氏</b> [2020年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>	 <p>株式会社セルージョン 副社長 兼 取締役COO <b>林田 丞児氏</b> [2021年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア) Social Entrepreneurship 社会企業論 (熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目)</p>	 <p>株式会社坪田ラボ CSO 慶應義塾大学医学部特任講師 <b>早野 元詞氏</b> [2021年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>中村合同特許法律事務所 ストックマーク株式会社 株式会社オンラインストア 弁護士・弁理士・社外監査役 <b>中村 飛翔氏</b> [2021年度] 担当科目／アントレプレナー・ファイナンス論</p>	 <p>GVA TECH株式会社 COO <b>山本 俊氏</b> [2021年度] 担当科目／先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン)</p>	 <p>株式会社アドミン 代表取締役 <b>山口 知宏氏</b> [2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>
 <p>株式会社YOUI 代表取締役 <b>原口 唯氏</b> [2020・2021年度] 担当科目／アントレプレナー・シップ入門</p>	 <p>株式会社LTU 代表取締役社長 <b>原田 岳氏</b> [2021年度] 担当科目／アントレプレナー・ファイナンス論</p>	 <p>早稲田大学ビジネススクール 准教授 <b>樋原 伸彦氏</b> [2020年度] 担当科目／アントレプレナー・ファイナンス論</p>	 <p>株式会社エクササイズザーズ グループリーダー <b>結城 崇氏</b> [2021年度] 担当科目／先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)</p>	 <p>株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所 代表取締役 <b>横田 尚哉氏</b> [2020年度] 担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門</p>	

## 6 NFECの概要

### 概要

#### ●名称

国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構  
FFGアントレプレナーシップセンター

#### ●講座形式

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ寄附講座

#### ●組織図

FFGアントレプレナーシップセンターは長崎大学研究開発推進機構の一部門として新設されました。



### ラウンジNOVE

#### ◆ラウンジNOVEとは

ラウンジNOVEは、長崎オープンイノベーション拠点の一部として長崎大学内に開設されたスペースです。NOVEとは「Nagasaki Open Innovation & Venture Empowerment」の略称であるとともに、ラテン語で「新たに」という意味を持ちます。

#### ◆長崎オープンイノベーション拠点とは

長崎オープンイノベーション拠点は、2020年7月、長崎大学、長崎県産業労働部及び公益社団法人長崎県産業振興財団により、長崎県の産業振興及び地域課題の解決を図ることを目的として締結された産学官連携に関する協定に基づいて設置された拠点です。長崎オープンイノベーション拠点を核として、長崎県の地方創生の実現と将来にわたる長崎県の持続的な発展を目指した活動が行われます。

#### ◆ラウンジNOVEのビジョン

①ラウンジNOVEは、長崎大学の学生が自分自身の課題意識に基づいて問い合わせを見出し、その問い合わせの解決に向けて自発的に企画・発案したプロジェクト（学生プロジェクト）に取り組むことによって、多様な価値観を共有できる仲間と出会い、創造性を發揮して社会に新しい価値を生み出す実践の場を目指します。

②ラウンジNOVEは、学生同士のみならず、社会人（NOVEに訪問登録をした卒業生、教職員、行政、企業に属する社会人等）との交流を積極的に行うことにより、長崎におけるオープンイノベーションの発信地を目指します。

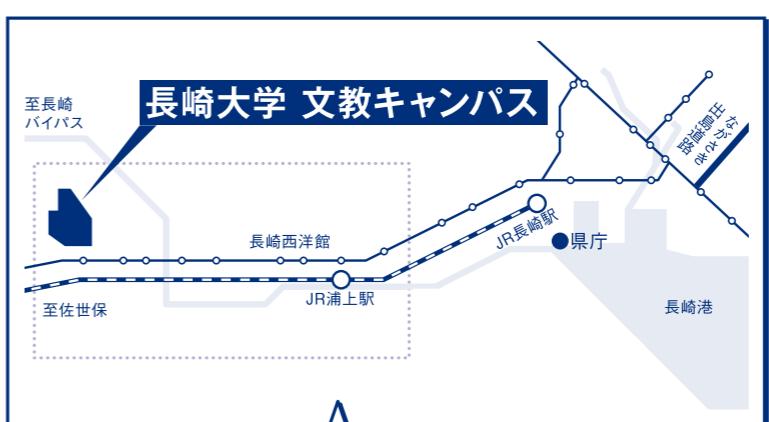
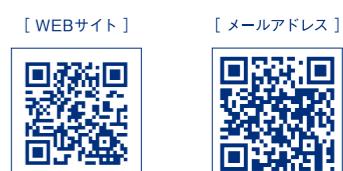
#### ◆ラウンジNOVEの利用方法

学生プロジェクトに取り組む学生は、利用登録をすることにより、会議、セミナー、学生同士の交流・議論の場、学生プロジェクトに関わる社会人や教職員との交流・議論の場として、ラウンジNOVEを利用できます。



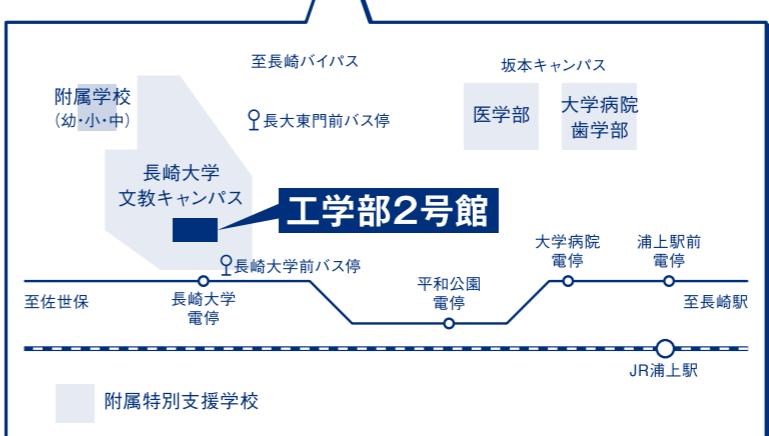
### NFEC及びラウンジNOVEへのアクセス

#### 文教キャンパス Map



**●JRをご利用の場合**  
JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

- 浦上駅前から路面電車をご利用の場合
  - 「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車
  - 「長崎大学」で下車(所要時間／約10分)
- 浦上駅からバスをご利用の場合
  - 「浦上駅前」から「滑石(なめし)・時津(ときつ)」等方面行き乗車、「長崎大学」で下車(所要時間／約10分)



**●高速バスをご利用の場合**  
浦上駅経由長崎方面行きバス「昭和町(しょうわまち)」で下車し、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分

**●航空機をご利用の場合**  
長崎空港(大村市)から浦上駅経由長崎方面行き長崎県バス「長崎空港リムジン」で「長大東門前(ちょうだいひがしもんまえ)」で下車(所要時間／約50分)し、徒歩で約3分